



青森歯技 2011 Vol.1

(社)青森県歯科技工士会
発行 長内 隆
編集 石岡 繁
成田光広



目次

生涯研修開催告示
支部便り
新役員・学術報告
総会・理事会・活動
行政より・日技より
会計より

別冊付録

“新ステージへ” 脇本政男代表
“行政より医療政策通知”

注目!!

生涯研修自由課程 開催

平成23年11月27日(日) 正午～17時

はまなす会館 (青森市問屋町)

「矯正歯科の技工物へのアプローチ」

横井欣弘 先生 (日技認定講師)

愛知県歯科技工士会 東海矯正研究所所長



歯科矯正技工のオーソリティー、横井欣弘(よしひろ)先生をお招きし、標記の日技生涯研修自由課程を開催する運びとなりました。先生は、歯科矯正のみならず幅広い分野にご造詣で、ご多忙のところ、本県歯科技工士会に時間を割いて下さいました。先生はとても気さくな方で、会場の皆様からも広くご質問をいただき、楽しく充実した研修会になれば幸いです。『日本歯技』6月号には「研究発表を成功させるための秘訣」を執筆されており、読まれた方もいらっしゃると思います。学校以来遠ざかっていた方も、臨床に必要な場面がある矯正技工について今一度、教養を深めて、明日からの歯科技工に役立てて行かれることと思います。皆様のご参集をお願いいたします。案内『日本歯技』11月号掲載

参加費 無料 (会費充当) (非会員 3,000円) 学術担当 福田祐嗣 (勤務)017-763-3250



支部便り 今年度も各地で開催 支部単位で協力しました。

青森支部

支部長 成田光広

むし歯予防キャンペーン盛大況！ 絶える事の無い人の波



6月5日(日)青森イトーヨーカドー1F イベントホールにて、歯科医師会主催のむし歯予防キャンペーンが行われました。

技工士会青森支部も毎年恒例の指模型製作と人形模型のプレゼントを行いました。今年も10時の開店と同時にお客様が押し寄せ3時30分のイベント終了まで押すな押すなの大盛況でした。中には「毎年ここで子供の指模型を作り我が子の成長がわかります。」と言って下さる方もおられました。

春のDカップ (野球) ～無念メンバー揃わず～



6月19日(日)厚生会球場にて、歯科医師会、技工士会、シマヤ、北日本デンチャーの4チームによる春のDカップが行われました。

結果は優勝-歯科医師会 2位-北日本 3位-技工士会 4位-シマヤでした。我が技工士会はメンバーが揃わず3名の助っ人に来て頂き何とか試合をする事が出来ました。ちなみに技工士会の最優秀選手に選ばれたのは新加入の佐藤選手でした。

「秋の大会は何とかして技工士9人で野球を

やりたい！」と監督は涙ながらに話しておられました。野球部では引き続きメンバーを募集いたしております。

～ 青森支部の行事～

- 7月30日(土) ビアパーティー「サッポロビール910」にて
- 10月29日(土) 県民福祉プラザ「柳谷雅敏特別講演会」

八戸支部

支部長 荒谷 玄

八戸市環境・健康フェスタ2011 健康まつり&環境展

9月25日(日)八戸市公会堂にて健康まつり&環境展が行われました。

八戸支部は毎年、入れ歯リサイクルコーナー&せっこのキャラクター模型プレゼントと称してブースをいただいています。今年は、当日のスタッフを6名にして、又、未入会の技工士さんにも手伝っていただき 8名の人員で、指型模型の制作にチャレンジしました。



9月例会のときに、荒町氏よりラバーボールを使わないで、アルギン酸印象および

せっこう練和をするデモを受けました。私たちのブースは総合案内所の真裏で、作業スペースも限られていて、最初なかなかうまくいかず大変でした。幸いなことに、例年に比べて子供の人数が少なかったおかげで、だんだんペースをつかむことができました。

初めての試みでしたが、無事終えることができて、ほっとしました。

また、干支の石こう模型は人気があり、来年は数も色も増やしてみようと思っています。

印象材を入れるケースとして、フィルムケースを知り合いのカメラマンにお願いしたところ、80個も用意していただき、とても感謝しています。ありがとうございました。来年に向けては、今年の反省を踏まえて準備をしっかりと、みんなで出来るようにしたいと思っています。



八戸支部 バーベQ大会

7月24日(日)八戸支部のバーベQ大会を八戸公園(こどもの国)にて行いました。

前日からの雨が朝には小降りになり、準備しているころにはすっかり上がり、絶好のバーベQ日和となりました。日ごろの行いがよかったかな!?

当日は参加者16名(家族、未入会者含む)用意したお肉は、牛、豚、鳥、焼きそば、野菜もたくさんあり、とても食べ切れませんでした。



た。飲み物も、ビール、ノンアルコール、お茶、ジュース等とても美味しくいただきました。特に荒町氏が作ってくれた焼きそばは、最高でした。小笠原氏はひたすら飲み続けていました。ときどき吼えながら！！

日ごろ、技工室に閉じこもって仕事をしている我々にとって、お日様の下でのバーベQは大変気持ち良かったです。終始和やかに楽しく過ごすことが出来ました。こどもの国ということもあり、小さな子供にとっても、遊ぶに事欠かないところだったと思います。そのぶん親は大変ですが。

会員だけでなく未入会者の参加も呼びかけ、来年も又やりたいと思います。



いきいき・歯っぴー2011 特別養護老人ホーム・修光園を訪問して

八戸支部長 荒谷 玄

去る6月4日（土）特別養護老人ホーム・修光園にて、入所者の方々の義歯に名前を入れるボランティアに行ってきました。また、義歯の清掃もおこないました。

準備の段階で、歯科医師会の先生方から、義歯の修理やリベースなどに対応は出来るのか？等の質問がありましたが、なにぶん1時間という少ない時間では限界があり、出来る範囲で作業させていただくことになりました。今回は、新入会員を含み9名で望みました。

名前入れ（14床）・義歯清掃（24床）

チームワークもよく、時間内でスムーズに出来たことにほっとしました。年々思うのですが、入所者の義歯がきれいに使われているのが印象に残りました。自分で清掃できる方はもとより修光園のヘルパーの皆様の取り扱いが良いのだと思っています。

名前入れの作業が始まって、ある義歯を見た時、以前訪問したときにいれたものか分かりませんが義歯にはすでに名前が入っていて、ちょっと驚きました。大事に使ってもらってと感じました。読み取りやすくなるよう新しい名前に取り替えました。義歯は噛むという機能と審美を回復させることが出来ます。技工士は、その義歯を作っているわけですから長く使ってもらうことはうれしいことです。このようなボランティア活動に参加させていただいたことに感謝しています。

今年も、ラピア会場に石こうのキャラクター模型を提供させていただきました。干支と恐竜に絞って製作しました。

公衆衛生委員会の北村先生、兼田先生をはじめとする諸先生方、歯科衛生士会の皆様、受け入れてくださった修光園の皆様のおかげで無事作業を終えることが出来ました。心より感謝いたします。

弘前支部

広報 後藤匡史

弘前市民 健康まつり

弘前総合保健センターでも去る 7月9・10日の土日、第25回「市民の健康まつり」が開催されました。今年も弘前支部から斉藤支部長、船水、吉野、舘山、竹浪、天坂、後藤の6名が参加しました。展示物は例年通り技工物と製作工程のパネル展示。18キロの硬石膏を使用した。石膏人形と会員手作りのミニチュア義歯ストラップの配布など。近年は来場者の指模型の製作が人気です。毎年この2日間は普段以上に仕事をしている感じがします!。今年には新たにまたパネルを1枚、役員の努力により追加しました、尚、毎年石膏やパネルの材料等には弘前歯科医師会様から準備金を御協力いただいております。

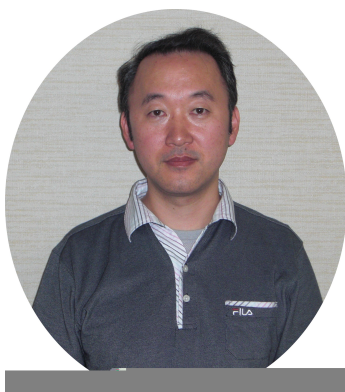
弘前城築城400年祭のシンボルキャラクター「たか丸くん」も応援に来てくれました。

**弘前支部の バーベQ大会**

9月3・4日(土日) 大鰐あじらの森キャンプ場参加者：大人17名子供4名の計21名、当日は台風12号の影響で昼頃から強い雨が降ってましたが、夕方には止み、雨除けの準備もしたが必要ありませんでした。故対馬雅之元支部長さんが予約してくれたコテージ4棟(お天気の予約も)を贅沢に使い、おいしい空気の自然の中準備着々と進み、暗くなってからの合流組とともに遅くまで語り合い、奥様がた手作りのタレ、おにぎり、漬物、デザートなども加わり大いに盛り上がりました。普段と違い本物のビール、上等の肉、ハム、ソーセージ、野菜。いつか見たお子様も成長して中高生になられ、大人も酔いに任せて饒舌になり、「職場結婚の人ー!!」と叫ぶと何人もが「ハーイ!!」。ひょっとして全員に近い?」



県技 新役員紹介 平成22年度にて3年間の任期満了により役員の人事交替がありましたが、平成23年度からの新メンバーを自己紹介していただきました。（順不同）



この度県の理事になりました弘前支部の舘山龍彦です。担当は、勤対、技対です。今回初めて県の理事になりましたので、県の仕事の内容がまだよくわかりませんが、これから会長始め各担当理事の皆様に教えていただきながら青森県歯科技工士会のために微力ではありますが頑張っていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

初めまして。今回理事に就任した
上十三支部の濱邊利之です。

組織理事(補佐)の仕事はまだわからないこともありますが先輩方の力になれるように頑張ります。
よろしくお願いします。



初めまして。この度青森県歯科技工士会、広報補佐として働かせていただきます青森支部の成田光広です。青天の霹靂といえますか、県の役員に推薦されたのが理事会の開催直前のことでした。しかし推薦されたからには出来るだけ頑張りたいと思いますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

役職	氏名	役職	氏名	(役)	氏名
会 長	長内 隆	組織補佐	濱邊利之	相談役	中居勝義
副会長	木村壽二	広 報	石岡 繁	相談役	宮崎清蔵
副会長	若松 巖	広報補佐	成田光広		
専 務	小笠原賢	学 術	福田祐嗣	青森支部長	成田光広
会 計	佐藤浩一	厚 生	斉藤 晃	弘前支部長	斉藤 晃
組 織	安村好弘	勤対技対	舘山龍彦	八戸支部長	荒谷 玄
監 事	清野龍一	監 事	鈴木 敦	上十三支部長	沖津賢一

♣各理事も県内に散らばっていて会合に参加するにも遠距離、時間を遣繰りしご苦労様です。
新人も加わりITも積極的に活用して合理的な会務運営を心がけていきたいと思ひます。(長内)

平成23年度 生涯研修基本課程開催

主催 日本歯科技工士会 コード 86-10201 平成23年7月3日(日) 正午より

1. 【公益法人改革と地域歯科技工士会の対応の模索】 教養課程(教養科学)
2. 【良質な歯科補綴物等の確保のために】 専門課程(歯冠修復, 有床義歯技工)

日技認定講師 岩澤 毅 先生 (日本歯科技工士会理事)

本日使用の資料

○秋田県技

公益法人改革のなぜ？

平成23年4月24日(日)秋田県技総会資料

○秋田県公益認定班プレゼン

新公益法人役員向け説明会

平成22年2月12日秋田県知事公室総務課

新公益法人財務基準説明会(公益用・一般用)

○日本医師会プレゼン

医師会における公益法人改革の問題点

平成22年3月22日日医常務理事今村聡

スライドより

【内容】

・歯科技工所は、作業場の床面積が小規模なもので、継続的な騒音等の発生により、近隣の居住環境に影響を与えるおそれがない場合は、「洋服店、畳屋、建具屋、自転車店、家庭電気器具店その他これに類するサービス業を営む店舗」に該当する。

建築確認のための基準総則/集団規定の適用事例/2009年度版

編集: 日本建築行政会議

発行: 財団法人建築行政情報センター

28

就業歯科衛生士・歯科技工士及び歯科技工所の年次推移(各年末現在)

保健・衛生行政業務報告(衛生行政報告例)
結果(就業医療関係者)の概況

	平成10年 (1998)	12年 (2000)	14年 (2002)	16年 (2004)	18年 (2006)	20年 (2008)
歯科衛生士	61331	67376	73297	79695	86939	96442
歯科技工士	36569	37244	36765	35668	35147	35337
歯科技工所	17648	18199	18772	19233	19435	19369



歯科技工士の法律、医療の社会問題などの我々の普段の仕事とは一味違う観点からの資料・情報収集、そして深い分析に長けておられる日技理事、情熱家の秋田県歯科技工士会専務の岩澤先生をお招きして早朝発深夜帰着の強行日帰りで講義していただきました。なかなか分かっているようで分らない新公益法人法の解説や、公益法人を目指す秋田県の取り組む指針のヒント、それと鹿児島県歯科衛生士会の公益取得事例なども驚きました。一般社団を目指している本県技工士会もハードルを乗り越えるために努力しております。

第2部は技工所(室)設備の構造基準などの医療職の製造職としての法制度の目指すところを説明され、また他の業種(ドライクリーニング工場)の事例に見る厚労省と建築(国交省)の縦割り行政による矛盾が生じた例を解説しました。そういう場合は県などの監督官庁は、団体に対して理解ある対応をしていただける様です。支部の取り扱いなど法律に合わせて行きたいと思います。(長内)



特例民法法人 青森県歯科技工士会
平成22年度 第32回通常総会 議事録

日 時 平成23年3月5日(土) 午後5時

場 所 はまなす会館(青森市問屋町1-10-10)

開 会 議長選出まで若松副会長が司会進行を務める。

開会宣言 木村専務から総会出席受付受理の発表がなされた後に

会員数 175名・出席者及び委任状 108名・欠席 67名

となり会員数の過半数に達した。

社団法人青森県歯科技工士会平成23年度第32回通常総会の開会宣言をした。

議長 選出 小笠原 一善(青森支部)

書記 選出 荒谷 玄(八戸支部)・沖津 賢一(上十三支部)

議事録署名人選出 館山 龍彦(青森支部)・後藤 匡史(八戸支部)

会長 挨拶(長内会長)

本日はここに多忙なところ県内各地から皆様方にお集まりいただき、第32回(社)青森県歯科技工士会総会が開かれますことに感謝と敬意を表します。日頃の会へのご協力大変有り難うございます。県庁の監督指導の下、定款に則って3月に通常総会を開催する事になっております。

日技会費について、来る4月から改訂がされましたが、勤務者、個人自営者、法人自営者、終身会員、男女の別削除、共済の来年度で停止、技工学会会費など、いろいろ複雑な事と、ニチギデータセンターによる会費徴収制度の大きな疑問点など、全国の都道府県で混乱を招いております。本日もその点で質問が出るとは思いますが、実は来週11日の日技代議員会で質問動議がこの事に関して提出されています。6ヶ月の猶予期間の案が日技より出されておりますが、詳しくは代議員会次第ですので、その緊急報告を、各支部長さんへ速報する事と致します。また、日技も役員改選ですので、選挙活動が盛んになってはいますが、自分の意志で投票したいと思っております。本日の総会よろしく願いいたします。

議 事 (別紙資料)

第1号議案 平成23年度事業計画案承認の件
挙手多数で承認された。

第2号議案 平成23年度収支予算案承認の件
挙手多数で承認された。

第3号議案 県執行部提案議題承認の件
法人移行関連(一般法人化へ)
異議なしで承認された。

第4号議案 各支部提案議題審議
各支部の総会が終了後に提出のこと(4月の臨時総会にて提出)

以上の審議をもって、平成22年度第32回通常総会の行程を午後6時12分に終了した。

議 長 小笠原 一善

議事録署名人 館山 龍彦 後藤 匡史



特例民法法人 青森県歯科技工士会
平成23年度 第33回臨時総会 議事録

日 時 平成23年5月28日(土) 午後5時

場 所 はまなす会館(青森市問屋町1-10-10)

開 会 議長選出まで若松副会長が司会進行を務める。

開会宣言 木村専務から総会出席受付受理の発表がなされた後に

会員数 170名・出席者及び委任状 101名・欠席 69名

結果、会員数の過半数に達したので、

社団法人青森県歯科技工士会平成23年度第33回臨時総会の開会宣言をした。

議長 選出 小笠原 善一(青森支部)

書記 選出 荒谷 玄(八戸支部)・沖津 賢一(上十三支部)

議事録署名人選出 館山 龍彦(弘前支部)・後藤 匡史(弘前支部)

会長 挨拶(長内会長)

年2回の総会に係らず出席していただき、誠にありがとうございます。

3月11日の東日本大震災で、多くの会員が被災されました。職場、自宅を失ったり、宮城では亡くなった会員もおられます。

とりあえず、東北ブロック会長会議で今年度の東北ブロック会議を中止しそのお金1県あたり負担金5万5千円を、被災された岩手、宮城、福島県に義援金にまわしました。

議 事

◎第1号議案 平成22年度事業報告承認の件
挙手で承認された。

◎第2号議案 平成22年度収支決算報告承認の件
挙手で承認された。

第3号議案 平成23年度事業計画案審議 承認済

第4号議案 平成23年度収支予算案審議 承認済

◎第5号議案 平成22年度共済部収支決算書
挙手で承認された。

第6号議案 県執行部提案議題審議 追加

第7号議案 (各支部提案議題審議)

◎第8号議案 役員改選

◎第9号議案 その他

以上の審議をもって、平成23年度第33回臨時総会の行程を午後6時40分に終了し

議 長 小笠原 善一

議事録署名人 館山 龍彦 後藤 匡史

補足

第6号議案 県執行部提案議題審議

1. 保険業法 の絡みも有って70歳以上の死亡弔慰金を現行の20万円から数万円程度に変更する。

★3万円に決定。今年度から23年4月1日以降



2. 現行の第一生命保険の死亡100万円(70歳)を継続するか。例えば任意加入で継続するか。

★保険会社と相談して決定(共済が1年もたないので、基金の残高を見て
解約終了とする。)

3. 青森県歯科技工士のシンボル 会旗 を作って後世に残したい。ポール、飾り、ケース付きで10～12万程度
作ること決定(デザイン等は後で考案した結果 和文字の縦書きと英文字の横書きのリバーシブルデザインに理事会で決定したので見積もり15万円程度。

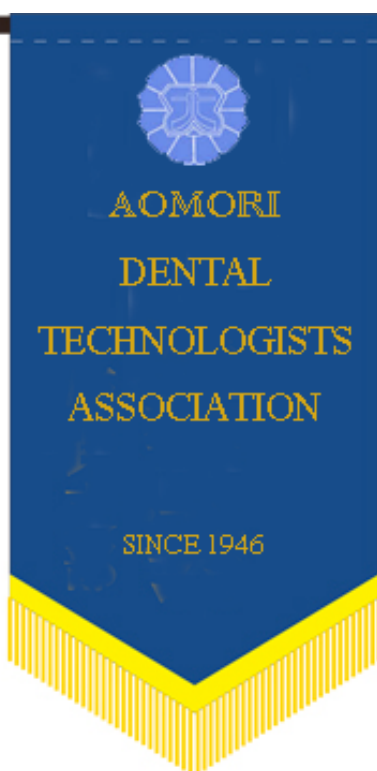
第8号議案

役員改選

青森支部 4名	弘前支部 4名	八戸支部 2名	上十三支部 2名
若松 巖	長内 隆	佐藤 浩一	濱邊 利之
石岡 繁	木村 寿二	小笠原 賢	安村 好弘
福田 祐嗣	斉藤 晃		
	館山 龍彦		
監事	外部監事	相談役	相談役



仕上がり例



英字仕様



和字仕様

豪華な縁取りモールやポール・スタンド・ケースなど一式
リバーシブルで15万円程度



平成23年度《第1回 県理事会》議事録

参加者 長内会長、若松副会長、木村専務、福田・石岡・小笠原・斉藤・安村・館山・
佐藤・成田・濱邊利之・濱邊 利喜理事、沖津支部長

座 長 木村専務

場 所 はまなす会館 問屋町（青森市）

日 時 6月25日(土) 開始 午後4時10分、終了 午後6時30分

会長挨拶

社団法人から公益法人へ移行するのに、大変ですが皆さんで頑張っていきましょう。

議 題

1. 理事担当役務 決定

会長 長内氏 副会長 木村氏 若松氏 専務 小笠原氏

学術 福田氏 学術補佐 小笠原氏 会計 佐藤氏 組織 安村氏 組織補佐 濱邊氏

広報 石岡氏 補佐 成田氏 勤対技対 館山氏 厚生 斉藤氏 館山氏

2. 年間計画

以前に比べ会員数も少なくなっている為、各部署の予算配分も考慮し、活動内容は出来るだけ縮小を抑えて活動をする。日程表を修正した後広報誌に掲載する。

3. 役務引き継ぎ(該当者)

理事全員で、助け合って活動をしていく事で了承した。

4. 7月3日 生涯研修 社会教育センター 午後12時から5時まで

講師 岩澤 毅氏 日技認定講師

教養 公益法人改革と地域歯科技工士会の対応の模索

専門 良質な歯科補てつ物等の確保のために

5. その他

◎会員の会費の料金表を作る。（解りやすく）

◎総会資料等、広報誌等の製作、印刷、発送等を全て長内会長が行なっているので、資料製作まで行なっていただき、印刷、発送を支部より行う事にする。

◎7月3日の生涯研修は、10時集合で理事会開催、各自弁当持参の事。

連盟 連名会費支払について、後日別に会員に連絡する。

以上



平成23年度《第2回 県理事会》議事録

参加者 長内会長・若松副会長・木村専務・福田・石岡・小笠原・斉藤・安村・館山
佐藤・成田・濱邊利之・沖津

座 長 小笠原理事

場 所 青森県総合社会教育センター（青森市）

日 時 7月3日(日) 開始 午前10時20分、終了 午前11時30分

会長挨拶

皆さん、日曜にお集まり頂きご苦労様です。学術勉強会もありますので、
今日一日、宜しく お願いします。

議 題

1. 会員名簿の作成について

名簿の作成は、一年～一年半後の完成発刊を目標としておこなってゆく。

記載事項としては、名前・住所・出身校・趣味・電話番号・アドレス・など、前回作成した内容に付け加えて載せる様にしたいと思います。

※ 経費は、10万円ほどになる予定です。

2. 広報誌発行について

広報誌に関しては、経費節約の為 県より（長内会長より）各支部役員へインターネットにて配信し、各支部ごとに、支部会員に発送を行うこととしたいのですがよろしいでしょうか。青森支部・弘前支部・八戸支部・上十三支部共に、了解を頂き支部単位で行う事となりました。

3. 学術勉強会について

長内会長が、講師を選出・交渉をし日程が決まり次第 開催地区の青森支部に連絡をする。（予定としては、今年の11月に青森市内で行う。）

4. 領収証発行について

県技工士会野球部が個人的に、活動費を捻出するために行うのであればかまいません。名称は、『青森県技工所会』 会員には、一冊・1,000円。非会員には、2,000円にて販売予定で行う。

5. 広報誌の内容について

- ・総会終了の報告記事
- ・県新理事紹介の記事（挨拶記事と豊富）
- ・八戸支部 中居氏の褒章の記事
- ・理事活動報告
- ・共済金について、もう一度会員への説明

6. 東北技工学会について

- ・青森市内で行う
- ・懇親会は行なわない
- ・人数は6県で、50名くらい。
- ・生涯研修も兼ねて行なう
- ・会員からの会費の徴収はしない。

以上



平成23年度《第3回県理事会》議事録

参加者

長内・木村・若松・小笠原・福田・石岡・斉藤・安村・佐藤・成田・濱邊

座 長 若松副会長

場 所 はまなす会館 小会議場（青森市）

日 時 9月24日(土) 開始 午後4時00分、終了 午後6時10分

始めに、亡くなられた3名の会員の方々に黙祷（対馬雅之さん(54歳・6月17日元弘前支部長）・安保清峯さん(69歳・8月8日八戸支部）・横山昌一さん(93歳・8月23日弘前支部)

会長挨拶 学会の為、また木村連盟会長は 日技評議委員会の為に日程の変更がありました事をお詫びします。お忙しい中、お集まり頂きありがとうございます。理事会を始めたいと思います。

議 題

日技評議委員会（9/17）報告・木村副会長

◎歯科技工士国家試験に関する意見交換

・歯科技工士国家試験の全国統一化に関する要望書

・歯科技工所開設届出済証

◎日技定款報告

・業務委託契約書（青森県技工士会としては、日技に意向して行く。）

・株式会社ニチギデータセンターについて

◎会員管理及び会費納入規程承認の件

（70歳以上の方に電話にて確認4名・来年4月より徴収）

◎任期満了に伴う日技連盟役員選挙管理委員会設置及び選挙管理委員選任の件

日技連盟の事業

・会計年度変更に伴う評議員会開催日程（案）

・代議員会の名称が変わり社員総会となる

・歯冠修復及び欠損補綴における製作技工・製作管理に関わるコード表

・会員に関しての共済についての検討

・来年4月をめどに、公益法人となる方針

・「歯科技工士の未来に向かって」PRについての説明

勧誘活動要綱・新入会員獲得マニュアル・日技ブログにて活動報告

・技工士会と連盟と2つに別れ、独立する形になる。

成田青森支部長 「どちらか一方だけに入会することは可能ですか？」

木村副会長 「可能だと思います。ですが、両方に入る様にお願いします。」

成田 「分かりました。」

連盟会計決算1/1から12/31となります。以上

各担当理事報告

長内会長 県庁にて社団法人について説明を受けて、具体的な行動に移って定款をつくり会計と進めていきます。

東北ブロック会議が中止となりますので、秋田県横手市にて代わりの会議が行なわれることとなりました。

会計（佐藤）今年に入ってから、会費支払いの預金システムによる苦情が多くなっていますので、会員個人個人の会費支払い額の通知を支部単位で行なってほしい。



- [他県（秋田）の会よりサンプルを頂く事にする。（会長）]
- 広報（石岡） 広報誌の作成が遅れており申し訳ございません。もう少し時間をいただきたいと思います。
会長、理事の方々との連絡をスムーズにするために、理事の方々の携帯メールアドレスの確認をし、リストの再発行をしたいと思います。ご協力をお願いします。
- 専務（小笠原） 長内会長の会務負担を各理事により、軽減化をはかってゆく。県技広報誌は、経費削減の為に年2回としたいと思います。ホームページ・ブログの作成を進めて行きたい。
- 厚生（斉藤） 特にありません。
- 組織（安村） 特にありませんが。
現在の会員数をお知らせ下さい。（23年9月30日現在168名）
会長補足※今年度より、新入会すると1ヶ月1,000円の補助金が県技工士会に、日技よりいただけることとなります。
- 勤技対（若松） 10月2日（日）ハートフルトーク・イン青森（歯科医師会館にて）が行われますので、弘前支部・青森支部の協力を得て参加する予定です。
- 学術（長内） 生涯研修 歯科矯正の横井欣弘(よしひろ)先生（名古屋）11月27日（日）を予定しております。詳しくは、また報告したいと思います。
- 青森支部（成田） 青森支部で、10月29日（土）県民福祉プラザにて勉強会を開催します。勉強会への各支部・会員参加のお誘いと、議題・垂れ幕作製をお願いをしたいのですが、よろしでしょうか。（会長こころよく承諾）
- 弘前支部（斉藤） 特に、ありません。
- 上十三支部 支部長欠席
- 八戸支部（小笠原） 明日9月25日（日）、健康まつりをおこないます。指模型作製など企画しており、楽しくおこないたいと思います。以上です。
- その他 日技より選挙の管理者代表者の選出（10月20日まで）。
※若松蔵理事に決定

以上です。よろしく お願い致します。

次回理事会 23年11月27日（日）生涯研修日

都道府県歯科技工士会会長殿

社 日 技 第148号 平成23年10月3日

社団法人日本歯科技工士会 会長 古橋 博美 ㊤

医政局長通知の発出について

毎々の会務ご協力まことに深謝いたします。

さて、厚生労働医政局長名で『**歯科医療の用に供する補綴物等の安全性の確保について**』（医政発0926第1号）が平成23年9月26日付で都道府県知事宛に発出され、管内および管下の市町村（特別区を含む）、関係機関、関係団体に周知するとともに、管下の歯科医療従事者等に対して周知の徹底および遵守の要請を図るよう通達がございましたので、通知の写しを送付させていただきます。

貴職におかれましては、会員への周知徹底方よろしくお願い申し上げます。以上（次頁）



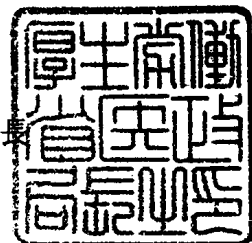
会員の皆様へ通知いたします。

医政発0926第1号

平成23年9月26日

各 都道府県知事 殿

厚生労働省医政局長



歯科医療の用に供する補てつ物等の安全性の確保について

歯科技工の業務については歯科技工士法（昭和30年法律第168号）等により適正に運用されるように規律し、もって歯科保健医療の普及及び向上を図っているところであるが、近年、歯科医療技術の進展、物流システムの発展に伴う補てつ物の作成過程の多様化・複雑化により、歯科医療の用に供する補てつ物等（以下「補てつ物等」という。）の安全性について関心が高まってきている。

こうした中、補てつ物等の作成等について不適切な取扱いが見られることから、下記のとおり示すこととしたので、貴管内及び管下の市町村（特別区を含む）、関係機関、関係団体等に周知するとともに、貴管下の歯科医療従事者等に対して周知の徹底及び遵守の要請を図られたい。

記

歯科技工士法第18条及び歯科技工士法施行規則（昭和30年厚生省令第23号）第12条により、補てつ物等の作成等は歯科医師の指示書に基づき行われなければならないこととされており、これは通常、委託という契約形態によって行われているところである。

この際、治療にあたる歯科医師から補てつ物等の作成又は加工することを指示された者が、当該歯科医師の指示していない第三者へ補てつ物等の作成又は加工を依頼することは、いわゆる補てつ物等の作成等の再委託にあたり、これは当該歯科医師の指示書に基づかない歯科技工が行われることとなるため認められないこと。

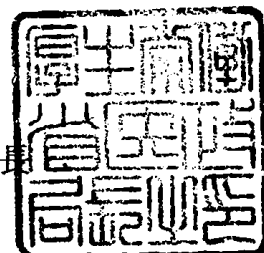


会員の皆様へ通知いたします。

平成23年6月28日
医政発0628第4号

各 都道府県知事 殿

厚生労働省医政局長



歯科医療における補てつ物等のトレーサビリティに関する指針について

国外で作成する歯科医療の用に供する補てつ物等については、これまで「国外で作成された補てつ物等の取り扱いについて」(平成17年9月8日付け医政歯発第0908001号医政局歯科保健課長通知)及び「補てつ物等の作成を国外に委託する場合の使用材料の指示等について」(平成22年3月31日付け医政歯発0331第1号医政局歯科保健課長通知)により、その品質の確保に努めるよう周知してきた。

しかしながら、歯科医療技術の進展、補てつ物の作成委託に係る形態及び物流システムの多様化に伴い国外で作成された補てつ物等の安全性について関心が高まってきたことを踏まえ、より安心して安全な歯科医療を確立するため別添のとおり「歯科医療における補てつ物等のトレーサビリティに関する指針」を策定したので、今後はこの指針の内容を御了知の上、貴管内及び管下の市町村(特別区を含む)、関係機関、関係団体等に周知するとともに、歯科医療従事者等に対して周知の徹底及び遵守の要請を図られたい。

別添 参照してください。



会員の皆様へ通知いたします。

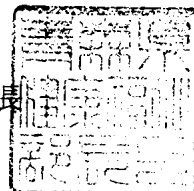
青が生第 190 号

平成23年9月8日

青森県歯科医師会長
青森県歯科衛生士会長
青森県歯科技工士会長

殿

青森県健康福祉部長



歯科口腔保健の推進に関する法律の施行について

本県の歯科保健医療の推進につきましては、日頃より御理解、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、標記について、別添写しのとおり厚生労働省医政局長及び厚生労働省健康局長より通知がありましたのでお知らせします。

なお、貴会員に対する周知方につきましても、よろしくお願いいたします。

別添 参照してください。

担当 健康福祉部がん・生活習慣病対策課
健康増進・生活習慣病対策グループ
主事 高屋 博行
電話：017-734-9212 F A X：017-734-8045
Email：hirokyu_takaya@pref.aomori.lg.jp

歯科技工士国民年金基金の担当者がお伺いに参ります。

(社)日本歯科技工士会より委託されている富国生命保険相互会社の歯科技工士担当者が皆様のところへお伺いいたします。われわれの人生の後半にやって来る年金生活に備えて現役のうちに基金を拠出して置き、老後にいくらかでも経済的に助かるように国が支援して個人が加入するものです。日技からの指令で皆様のところへと説明に参上いたしますので、その節はよろしくお願いいたします。



事業所会員の皆様へ 会計よりお知らせ

個人・法人事業所会員の皆様の日技会費が変更になりました。

10月度以降は、平成23年度事業所会員会費を納入することになります。

日技では、10～3月度の6ヶ月間で、1年分(平成23年度分)の事業所会員会費を徴収するため、10月度以降は、事業所会員会費を毎月2ヶ月分ずつ徴収することとしています。

よって、10月度以降は、通常の会費の他に、

事業所会員会費 @1,200×2ヶ月分、合計2,400円

を納めることになります。

当会では、4～9月度まで事業所会員会費を従来通り毎月500円ずつ徴収していました。皆様からお預かりしていた分の合計3,000円を10月度分(11月2日引落分)に充当し、11月度～3月度までは新会費額で徴収することに致します。

つきまして個人・法人事業所会員の皆様は、ご理解ご協力をお願い致します。

以下に徴収会費額の一例を記載致します。ご参考にして下さい。

例) 9月度会費額(10月3日引落)が3,300円の場合

10月度(11月2日引落)会費額	2,200円
------------------	--------

11月度(12月2日引落)～3月度(4月2日引落)会費額	5,200円
------------------------------	--------

※実質、1,900円の増額になります。	以上
---------------------	----

編集後記

去る3月5日(土)にJR新型車両「はやぶさ」E5系が新青森ー東京間にデビュー。最高時速300km/h、最短3時間10分で運行し、1日2往復ですが今後E5系車両を着々と増やし、11月19日以降はやて・やまびこの列車に使用することが発表されました。当面従来のE3系と途中から連結するため、時速275km/hですが、秋田用連結のE6系を開発中で300km/h運転ももうすぐです。東北と首都圏の時間も短縮され、東西JRも頼もしい限りです。3月11日の第94回日技代議員会に出席するためそのE5系「はやぶさ」を予約。会議は朝9時からなので、前日朝5時に家を出て、新青森発6時10分、東京着9時45分の始発便です。一歩車内に入るとシーンと静まり返って車内の防音もハイテクノロジーの粋。ふと気がつくと発車のベルも聞こえないままににいつの間にかかなりの速度で窓の景色が流れていました。昔の青函連絡船の離岸を思い出します。100kmh以上でようやく走行の振動と音を感じました。さて、翌11日代議員会プログラム通り進み、ニチギデータセンターの審議否決(曲解による)されて、任期満了役員選挙が開始され、そのさなか午後2時46分大きく長い揺れにより、全員会館の外へ避難。隣接のSONYビル、大日本印刷ビルそれぞれ違う周期で揺れているのです。落ち着いたところで選挙再開。携帯繋がらずすべての電車が止まった。交通渋滞、帰宅難民の行列に全国代議員が都民に揉まれてそれぞれに移動。帰省をキャンセルし、計15キロ以上歩いて親戚に泊めてもらいました。翌日の評議員会(中止)に出席予定の連盟会長木村壽二氏は地震で緊急停止の新幹線の中(それも福島トンネル内)で一夜を明かし、被災3県の会長は3日ばかりで帰宅したそうです。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

5月7,8日 歯科医師3名とともに岩手大槌町へ技工ボランティアに行きました。即席の義歯は評判が悪かったようで、すでに要望されないため、民家のがれき除去をしてきました。

※宮城県の物心すべてを失った技工士会員の方で『再起』するため、リングファースを求めています。提供できる方は理事へお知らせください。



長内 隆